



肺がんについて ⑤

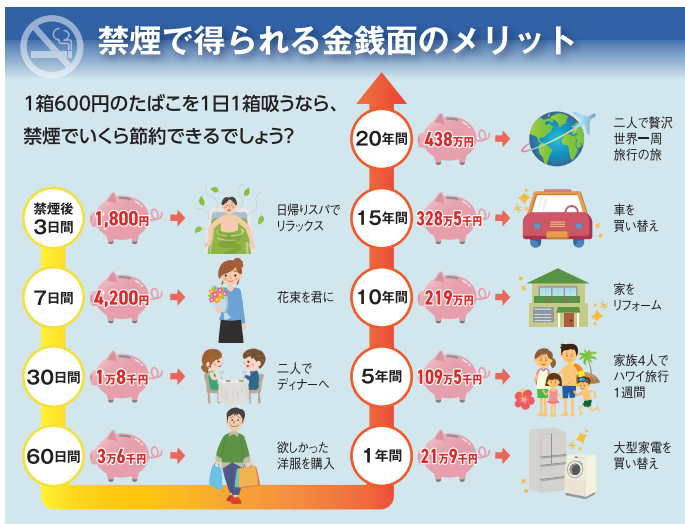
わが国における死因の第一位は「がん」です。その中でも死亡者数の最も多いがんは「肺がん」で、一年間に7万6千人もの方の命を奪っています。そんな怖い病気ですが、多くの人に肺がんについて知っていただくことで、治る患者さんを増やすことができると考えています。そこで、今回は肺がんと禁煙について、少し変わった視点からお話しさせていただきます。

第五回 喫煙と肺がん

肺がんシリーズの初回で「自分で予防できる最大の危険因子はタバコ」と書きました。禁煙に関する講演会では、喫煙者の黒くなった肺の写真などを見せてタバコの害を強調します。しかし本当に講演を聞いて欲しい喫煙者の方は、そんなもの見たくありませんから受講しません。そこで、喫煙者のパートナーに響くような話をします。まずは金銭的なお話です。

「禁煙で世界一周旅行」

最近のタバコは1箱550〜600円します。1日1箱吸う人が禁煙したとすると、3日でサウナ、2カ月で欲しかった洋服、1年で大型家電、5年で家族4人のハワイ旅行、10年で家のリフォーム、20年禁煙できれば二人で贅沢な世界一周旅行が楽しめます。ここまで禁煙できれば肺がんのリスクも70%軽減されるので一石二鳥、味覚や嗅覚も改善するので、贅沢な料理をおいしく食べられて一石三鳥です。



「禁煙で地球温暖化防止」

タバコを1本吸うと0.5グラムの二酸化炭素(CO₂)が発生します。しかし、タバコの生産から消費、廃棄まで考えると1本当たり14グラムのCO₂が排出されることとなります。昨年度の日本でのタバコの販売本数は1494億本なので、日本だ

けで年間約210万トン、これは自動車153万台の一年間分、サターンV型ロケット6970回打ち上げるのと同等のCO₂排出量になります。これだけのCO₂が削減できますから、禁煙することで地球温暖化防止にも貢献できるのです。

さて、5回にわたって肺がんに関するお話をさせていただきました。肺がんは怖い病気ですが、いろいろな治療法が開発され、「治る病気」になってきました。大雄会では肺がん健診を積極的に行い早期発見、早期治療に努めています。肺がんに関して気になることがあれば、専門医のいる医療機関までご相談ください。



監修

総合大雄会病院 副院長

ぬま なみ ひろ き
沼波 宏樹 医師

〈主な資格〉

- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医